

和木小学校コミュニティスクールだより

緑の風



令和8年度 5月号

ホーム <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/> E-mail wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp

「凡事徹底」日々の積み重ねを大切に

校長 村中 数子

風薫る5月。風にそよぐ木々の緑がまぶしい季節となりました。

新学期が始まって、まもなく1か月が経とうとしています。子どもたちは、担任の先生や友達とともに、元気いっぱい学校生活を送っています。

入学当初は緊張した様子が見られた1年生も、今では教室や校庭でたくさんの笑顔が見られるようになりました。初めてのことがたくさんある小学校での学校生活を、6年生がさまざまな場面で温かく支えています。登校後や給食の時間には1年生の教室を訪れ、優しく声をかけながら身の回りの手助けをしています。また、交通教室や合同体育などでも一緒に活動し、上級生として頼もしい姿を見せてくれています。



【朝の片付けのサポート】

6年生は、和木小学校のリーダーとして、学校全体を引っ張っていく存在です。これからも委員会活動や縦割り班活動などを通して主体的に活動し、全校児童とともに楽しい学校づくりを進めていってほしいと思います。

さて、1学期の始業式では、「あいさつをする」「時間を守る」「はきものを揃える」「学校をきれいにする」という『和木小 四つの約束』を、全校みんな大切にしていこうという話をしました。元気なあいさつや時間を意識した行動、身の回りを整えること、使った場所をきれいにすることは、特別なことではなく、みんなが気持ちよく生活するために欠かせないことです。



【きれいに揃えられた下足箱】

しかし、その「当たり前のこと」を、毎日の生活の中で継続していくことは、決して簡単なことではありません。当たり前のことを当たり前に行う「凡事徹底」の積み重ねこそが、子どもたちの心の成長や、生きる力の土台になると考えています。

これらの力を身に付けていくためには、学校での指導に加え、ご家庭での温かな声掛けが大きな支えとなります。「頑張っているね」「よくできたね」といった一言は、子どもたちにとって大きな励みとなり、次への意欲につながります。

ぜひご家庭でも、あいさつや片付けなど、日々の生活の中で見られるお子さんの頑張りを認め、温かく声を掛けていただければと思います。学校と家庭が同じ思いで子どもたちを見守り、支えていくことで、一人一人の成長が促されるとともに、子どもたち同士の関わりや学校全体の雰囲気もよりよいものとなり、和木小学校が安心して過ごせる、心地よい学校になっていくと考えています。

家庭と学校がそれぞれの役割を大切にしながら、子どもたちの成長に向け、共に取り組んでいきましょう。

和木小コミスクひろば

4月30日(木)第1回学校運営協議会において、令和8年度和木小学校の学校経営方針について承認をいただきました。今年度も地域や家庭との連携・協働を深めながら、子どもたちの「和木PRIDE」の醸成に向けて取り組んでまいります。

